

2020年 8月 9日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8時半

②10時半

③19時

司 会

石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

白川 達男兄

賛 美

聖歌462番 & ～主イエスをほめよ～

使徒信条

聖 書

ヘブル人への手紙2章14～18節

特別賛美

メッセージ

「苦しみを共にしてくださる主」

石井 潤 牧師

聖 餐 式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金

聖歌229番「アメイジング・グレイス」

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～今までの私の人生～

礼拝にお越しくださった皆様の心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

★本日の礼拝では聖餐式を行います。午後は執事会を行います。秋以降について。

☆今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半・19時半（大和の祈祷会の映像を用います）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝では、「平和祈念礼拝」を行います。午後の予定はありません。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/9-16]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	詩篇72 -77章	78- 80章	81- 87章	88- 91章	92- 101章	102- 105章	106- 109章	110- 118章
チェック	〇〇〇〇 〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

「苦しみを共にしてくださる主」

～信仰をもってイエス様を仰ぎ続ける人生～

「そういうわけで、イエスは、神の御前にあわれみ深い忠実な大祭司となって、人々の罪を償うために、あらゆる点で、私たちと同じようになることが必要だった。イエスご自身、試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることができるのである。」

ヘブル人への手紙2章17～18節 [現代訳]

昨晩の準備祈禱会で、詩篇68篇が開かれた。19・20節に「毎日、私たちの重荷を負ってくださる主、救い主である神は、ほめたたえられるべきお方。私たちの神は、救ってくださる神で、死から救い出されるのは、主である神による。〔現代訳〕」と書かれていました。その前には、イスラエルの民を荒野で養なわれ、導かれた偉大なお方について表現されていて、十戒を与えられたシナイ山は神の臨在によって奮い動いたことが表現されていますが、私たちの神様はシナイ山で恐るべきお方であることを示されただけではなく、具体的に私たちの日常生活を豊かに養い、導かれるお方であることをダビデは表現したかったのです。

私たちは中東に住むユダヤ人ではなく、極東に住む日本人です。だから、ユダヤ人たちが信じるものを日本人である私たちが信じるのはおかしいと思ってしまう部分もありますが、イスラエルを選び導いた力強い神様は全地の神でもあり、イスラエルが選ばれる前から、すべての造り主であり、人類の親でありました。その神様が今やイエス・キリスト様を通して、目の前に現れてくださり、その十字架と復活を通して全人類に救いを提供してくださいました。それは、命懸けのものでした。命を救うために、命をささげられたのです。

本日からヘブル人への手紙の学びに入りましたが、1章では、イエス様は天の御使いとは全く違うのだ！と書かれています。天使は神の道具のようにして、仕える存在です。しかし、イエス様はそうではなく、神ご自身として、全世界を救い、ご支配なさることができるお方であるということです。

「すべてのものをその下に置き、支配させておられる」という以上、その支配下にはないものは何も無いはずである。しかし、今もなお、この御言葉の完全な実現を見てはいない。ただ、「しばらくの間、御使いよりも低い者とされた」イエスが、すべての人の救いのために、現実に死を味わわれて後、栄光と誉れの冠を受けたのを知っている。それは、万物の存在の目的であり、また原因でもあるお方が、多くの人々を救いに導くのに、その救いの創始者であるイエスを、苦難に遭わせ、そうして救い主として完成されたのは、まことにふさわしいことであつた。私たちを聖めてくださる御子イエスも、聖められる私たちも、皆一人の父である神を持っている。だから、イエスは私たちを兄弟と呼んでくださるのである。〔ヘブル2章8b-11節：現代訳〕

主はすでに、全人類を救ってくださいました。しかし、その実現は私たちの信仰によるのです。信仰の創始者、完成者である主イエス様をしっかりと見つめながら、人生を走り続けましょう(12:2)！